

# 平成30年度 事業計画 (案)

## 前文

保育士不足が更に深刻化し、施設を休園、定員削減、もしくは弾力運用の廃止をしなければならぬ園が増えてきました。保育士に対する処遇は改善してきていますが、相変わらず保育士が負担する業務は増加の一途を辿り、業務の簡素化や削減とは名ばかり、ますます提出書類は増え、保育士の負うリスクも増え続けています。一番、守らなければならない「保育士の生活」について、会員の皆様とともに考えて参りたいと思います。

### 1) 保育を机上のものにしない

現場での判断力、発想力を一番必要とする仕事にもかかわらず、膨大な事務量を保育士に課することは、保育士の判断力、発想力を失わせる要因になり、逆効果だと考えます。保育士の事務業務を簡素化、明確にしていきましょう。

### 2) 監査

同じ書類、同じ情報の提出書類が、毎年行われます。基本情報の提出は一箇所、変更があった場合のみ報告と言う形が望ましく、提出書類の多さに、園長が業務を把握しきれない様子も見られます。「監査のための～」の準備はできるだけ割愛したいものです。

### 3) 人材確保

園長会は「横浜市私立保育園求人アプリ」を制作しました。養成校にQRコード付きのポスターを配布し、就職の手間をできるだけ簡素化していきます。まずは、学生や潜在保育士が、手軽に保育園の門戸を叩けるよう配慮します。

\*詳細、申し込み方法は、別紙お配りした資料をご参考にしてください。

### 4) 人材育成

園長会は、研修をより保育現場に近づけ、確実に保育の現場に役立てるものを提供します。また、各法人が持つ組織構成は様々であり、一概に一つの方法で問題を解決はできません。それぞれのケースにおいてどのような対策が必要なのかを細かく質疑応答を交えて考えてまいります。

### 5) 施設長の働き方改革

施設長は、園や職員を監督する立場にありながら、事務作業に追われることが多く、園の安全を確保することが困難な場合があります。施設長の働き方改革を考えます。